

今年度も残りわずかとなりました。園庭の桜の花も子ども達の成長を見守るように次々と花を咲かせています。

この1年を振り返ってみていかがだったでしょうか？ ハイハイやよちよち歩きだった子も、しっかりと地を踏んで歩いていたり、病気にかかりにくくなってきたり、毎朝泣いていた子も「おはようございます!」と笑顔で登園する姿にはたくましくなったな〜と成長を感じますね。

子ども達の靴は何足変わりましたか？ 洋服のサイズはどれだけ大きくなりましたか？ 自分でやる!(やりたい!)と言う変化はいつから出てきましたか？ 何気ない日常の中に、子ども達の成長記録があります。ぜひ少しでも振り返ってみて、これだけ大きくなったんだな、頑張っているんだなど認め、たくさん褒めて、たくさん愛してあげてください。

今年度も様々なご協力をありがとうございました。来年度も子ども達の健康・安全・安心のために、どうぞご協力を宜しくお願い致します。

母子健康手帳、定期的に見直してみませんか？

「3月3日」耳の日に寄せて

チェック!

予防接種、受けそびれはないですか？

3歳以降は予防接種の数が減るため、つい忘れがちですが、日本脳炎やMR、流行性耳下腺炎(おたふく風邪)などの追加接種があります。せっかく最初の接種を受けても、追加接種を受けないと免疫が十分につきません。追加接種を受けそびれないよう気をつけて。

また、二種混合や子宮頸がんワクチン(HPV ワクチン)など、小学校以降に受ける予防接種も記録できる母子健康手帳もあります。就学後ときどきチェックしましょう。

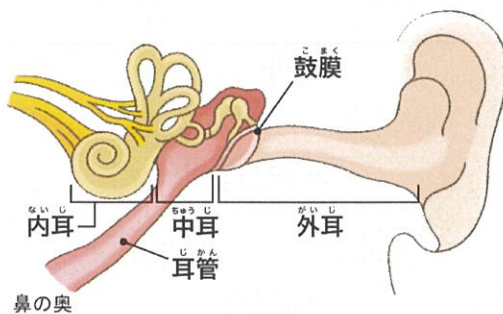
チェック!

身体発達曲線に育ちを記録していますか？

身体発達曲線(成長曲線)には、子どもの身長と体重の育ちの目安がのっています。ここに、お子さんの身長と体重の測定値を記入し、線で結んでみましょう。成長曲線の目安と、お子さんの測定値のグラフが平行に伸びていれば、順調に成長していることがわかります。

注意が必要なきときってどんなとき？

成長曲線と平行に伸びていれば成長に問題はないでしょう。ところが、成長曲線よりも傾きがなだらかな場合は、成長障がいサインである可能性があります。食事や睡眠、生活リズムなどチェックし、生活改善に取り組んでも成長が改善しない場合には、かかりつけ医に相談しましょう。



耳の仕組みは、大人も子どもも同じで、外耳、中耳、内耳の3つの部分があります。耳の穴から鼓膜までは外耳、鼓膜の奥には中耳、内耳があります。内耳では音や体のバランスをキャッチしています。

子どもの耳は…… 中耳炎になりやすい

中耳は「耳管」という管で、鼻の奥とつながっています。子どもは大人に比べて耳管が短く、傾きがなだらかなため、鼻の中のウイルスや細菌が耳管を通して中耳に入りやすく、中耳炎を起こしやすいのです。

子どもの耳は…… 耳掃除が大変

耳の穴が小さく、中が見えづらいため、耳掃除が難しいです。また、耳の中の皮膚は敏感なため、嫌がって動いてしまい、耳の中を傷つけたり、きょうだい児が抱きつき、耳かきが押されて鼓膜が破れる事故も。

だから… 鼻水を放っておかない

鼻水が出ているのをずっと放っておくと、鼻水中にウイルスや細菌が繁殖し、中耳炎の原因となります。鼻水が多い時には鼻吸い器や耳鼻科で吸ってもらいましょう



だから… 困ったら耳鼻咽喉科で相談しましょう

普段の耳のケアは、お風呂上がりなどに耳の穴の入り口を綿棒で拭うだけでOK。綿棒を奥まで入れてしまうと、耳アカを奥に押し込んでしまうことになります。耳掃除が難しい時は、耳鼻咽喉科を受診し、相談してみましょう。

